

平成29年度放射線安全取扱部会年次大会 (第58回放射線管理研修会)のお知らせ(3)

平成29年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成29年度放射線安全取扱部会年次大会は近畿支部が担当します。年次大会始まって以来の“島”での開催です。しかも、日本発祥の島“淡路島”。今年度の年次大会のテーマは「はじまりの島 主任者よ いざ夢の舞台へ」です。今年、放射線障害防止法は大幅に改正され、放射線利用も大きな変革の時代に入ってまいりました。主任者にも新たな変革が求められます。今年がそのはじまりの年となります。

今回の年次大会は、ホテルも併設されており、ゆとりのある時間と場所を提供し、参加型の大会にしていきたいと思っております。日頃の放射線管理の中で感じている疑問や新法令への対応について、ベテラン・若手、主任者・管理者分け隔てなく語り合いましょう。

本大会のプログラムには、例年通り原子力規制庁より「放射線安全管理行政の動向」の特別講演をはじめ、今回の法令改正に合わせて各事業所の取組みについて、様々な分野の放射線施設代表者をパネリストとして発表いただき、盛んな意見交換を行う予定です。また、「大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム」との共催のシンポジウムをはじめ、核医学、疫学に関する放射線に関連する方々への勉強となる話題が満載です。

お楽しみの交流会の後は、分科会主催のナイトセッションにも是非ご参加ください。昼間には話せなかったことを、全国の関係者を交えて存分に語り合いましょう。また、癒しの空間として「星を観る会」も同時開催いたします。奮って交流の場を満喫してください。

年次大会の概要

- 開催日：平成29年10月12日(木)、13日(金)
- 会場：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場

兵庫県淡路市夢舞台1番地

○テーマ：はじまりの島 主任者よ いざ夢の舞台へ
6月より事前参加登録を開始しております。事前参加登録締切日は9月8日(金)です。詳細はホームページ(<http://www.jrias.or.jp>)をご確認ください。

更に多くの参加者を募るため、学生会員の参加費を設定しました。ただし、学生会員の登録は事前のみとなっております。非会員の学生は、入会金として別途1,000円申し受けます。

参加費	事前登録	当日登録
年次大会 ・一般 ・学生	6,000円 2,000円	7,000円 —
交流会 ・一般 ・学生	5,000円 2,000円	6,000円 —

○会場情報

夢舞台国際会議場2階メインホールを、部会総会、特別講演、シンポジウムを開催するメイン会場とし、同2階レセプションホールBにてポスター発表、レセプションホールBホワイエにて機器展示を行い、メインホールホワイエに相談コーナーを設置いたします。参加受付は2階登録カウンターで行います。クロークはレセプションホールB脇に設けますのでご利用ください。交流会は地階イベントホールにて開催いたします。

プログラムのハイライト

【1日目】

特別講演Ⅰ「放射線安全管理行政の動向」

(10月12日 13:30~14:30)

松本武彦氏(原子力規制庁)

本会恒例の原子力規制庁による放射線安全管理行政の動向について、原子力規制庁より講師をお招きして、解説をいただきます。放射線規制の現状・管

理の実態などのお話と共に、法令・省令改正の最新の検討状況に触れていただけるかもしれません。是非、お楽しみにしてください。

シンポジウムⅠ「法令改正を踏まえた事業所の取り組み」

(10月12日 14:40~16:10)

平成29年4月14日に「放射性同位元素等の規制に関する法律」が公布されました。公布後1年以内の施行のものは、「廃棄に係る特例」、「原子力規制委員会等への報告」及び「試験、講習等の課目の施行規則への委任」があり、公布後3年以内の施行のものは、「防護措置」及び「RI事業者の責務の明確化」があります。しかし、実際現場への導入や運用における不明点や課題が各事業所に存在しています。そこで、今回のシンポジウムでは、様々な業態の事業所の方から、法令改正による現在の対応状況や課題等をご紹介していただく予定です。その上で原子力規制庁より、課題への対応方法等のご意見をいただき、パネル討論を行う予定です。

【2日目】

シンポジウムⅡ「主任者のスキルとしての緊急時モニタリング—そのプラットフォーム構築のための教育研究の試み」

(10月13日 9:30~10:30)

「大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム」共催

- (1) 緊急時対応の考え方と緊急モニタリングプラットフォームの位置付け
松田尚樹氏（長崎大学）
- (2) 緊急モニタリングにおける基準線量
柴 和弘氏（金沢大学）
- (3) 緊急モニタリングと原子力防災体制の接点
後藤稔男氏（宮崎大学）
座長 松田尚樹氏（長崎大学）

主任者の有する放射線管理技術は、管理区域外の放射線事故時にも応用できるものであり、事実、東京電力福島第一原子力発電所事故後に緊急被ばくスクリーニング、環境放射能分析等に関わった主任者も少なくありません。このシンポジウムでは、新たな原子力災害対策指針及び放射線規制の仕組みにおける、原子力・放射線緊急時の初期対応の枠組みと

緊急モニタリングの位置付けを紹介し、その枠組みにおける放射線施設及び主任者によるプラットフォーム構築の試みの現状と、緊急モニタリングに必要な基礎情報について整理します。

特別講演Ⅱ「核医学イメージングでわかる情動のメカニズム—“ときめき”の脳科学」

(10月13日 10:40~11:40)

高橋佳代氏（理化学研究所）

アイソトープを利用する核医学イメージングは、病気の診断や治療の評価に広く応用されています。核医学イメージングの1つであるPETは、日常の診療だけでなく臨床研究の強力なツールとしても注目されています。これまでも脳血流と脳機能の関連についての研究は数多く報告されていますが、脳内の神経伝達物質を直接測定してヒトの情動のメカニズムを解明するというPETならではの新しい研究を紹介いただきます。本講演では、ヒトの恋愛感情に着目し、ドーパミン神経系の変化から解析した「恋愛時の“ときめき”のメカニズム」についての研究成果を紹介して、恋愛という身近なテーマを最先端の技術で解説していただきます。

特別講演Ⅲ「フクシマから始める疫学入門」

(10月13日 13:00~14:00)

田中司郎氏（京都大学）

演者は臨床統計学分野において我が国を代表する研究者のおひとりです。京都大学にて脂肪萎縮症治療薬メトレプチン治験の統計業務などに従事され、その後も統計家として様々な成果を挙げておられます。また最近では、臨床統計家の育成にも尽力され、精力的な教育活動を展開されております。震災後は、「放射線必須データ32」（創元社）の執筆編者のおひとりとして、チェルノブイリ原発事故の疫学データの解説などを担当された。2014年度ベストティーチャー賞など、受賞歴も多数おありです。本講演では、統計学の基礎から福島の疫学調査に関する話題まで、幅広い内容でご紹介していただきます。

ポスター発表（レセプションホールB）

ポスター発表は、発表者と皆様が直接交流できる場です。多くの方が参加して、活発な討論や情報交換をしていただけたらと思います。今回のポスター

発表は、広いスペースを確保しましたので、奇数・偶数の時間割りなく一度に行います。

ポスター掲示：10月12日 12:00

～11月13日 13:00

ポスター発表時間：10月12日 16:30～17:30

相談コーナー（メインホールホワイエ）

（10月12日 12:00～13:30）

日頃、放射線管理業務で疑問に思っていることや困りごとなどについて、相談をお受けいたします。相談員は法令検討専門委員会や全国の支部委員の皆さんに相談員を務めていただいて、放射線管理・取扱、法令、R I 供給・廃棄など幅広く相談をお受けいたします。

機器展示（レセプションホールBホワイエ）

10月12日 10:30～17:30

10月13日 9:10～13:00

放射線関連サービス会社・製品メーカーによる展示があります。時間の許す限りお気軽にお立ち寄りご覧ください。

書籍コーナー（2階カウンター）

10月12日 10:30～17:30

10月13日 10:00～13:00

日本アイソトープ協会出版の書籍展示があります。是非、手に取ってご覧いただき、購入の参考になればと思います。

交流会（地階イベントホール）

（10月12日 18:00～20:00）

年次大会と同じ建物の地階にて交流会を開催いたします。ご参加の皆さんの交流を深める絶好の機会です。料理はウェスティンホテルから取り寄せるため、美味疑いなし。催しも近畿ならではの面白い企画をご用意しております。和気藹々愉快適悦の場を設けますので、実行委員会一同多くの方のご参加をお待ちしております。

ナイトセッション（会議室 301）

（10月12日 20:30～）

今回初めての試みです。分科会主催で交流会後にナイトセッションを催します。昼間に語り足りな

ったことや日頃の問題点、日本国の放射線の行方を憂えること等々を参加者で思う存分語り合ひましょう。

議論の端緒として、分科会から事故時の対応について話題提供いたします。まだ事故経験のない主任者の方々には有益な情報が満載です。

スターナイトカンファレンス「星を観る会」（会議室 301 前屋上）

（10月12日 20:30～）

星空観賞会もナイトセッションと同時に開催。星座についての解説ありで、議論に疲れたら憩いのひと時を。ロマンチックな秋の夜空を満喫してください。雨天時は室内にて行います。

【淡路島・明石のご案内】

年次大会開催会場の淡路夢舞台のすぐお隣には花をテーマとした場所が多数あります。“淡路島国営明石海峡公園”，“奇跡の星の植物館”，“百段苑”等秋の散策にはうってつけです。また、少し淡路島内に足を延ばせば、阪神淡路大震災の断層を保存した“北淡震災記念公園（野島断層保存館）”，夢舞台と同じ安藤忠雄の建築である“本福寺（淡路四国第五十九番霊場）”があります。本州にお帰りの際、高速艇をご利用されれば、岩屋港近くには日本最初の国土とされる「おのころ島」の伝承地パワースポット“絵島”，明石港から JR 明石駅の間には、魚介類の宝庫“魚の棚商店街”！是非一度、本場明石焼きをご賞味ください。その他にも観光地と美味しいものが盛りだくさん。

国生みの島と日本の標準時間の街をご堪能ください。

【会場のご案内】

淡路夢舞台へは複数のルートがあります。

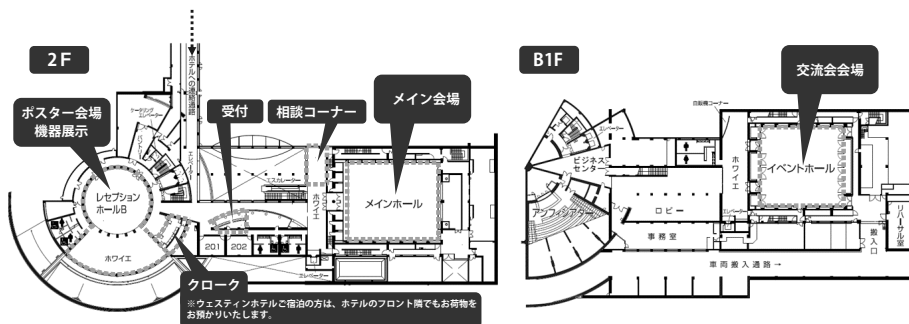
北海道、本州、九州の方は、新幹線・JRなどで、新神戸駅前、三ノ宮駅前、舞子駅（高速舞子）から高速バスにご乗車いただき、淡路夢舞台前で下車。四国からは、各駅の高速バスで高速舞子まで行き、高速バスに乗って淡路島へ。ただし、高速バスは定員以上はご乗車できません。お薦めは、JR 明石駅から明石港に行き、明石と淡路を結ぶ高速艇「ジェノバライン」へ。明石大橋の下を通過して、淡路島岩屋港に到着。ここから路線バスにご乗車していただ

宿泊につきましては、会場に隣接したウェスティンホテル淡路及びシーサイドホテル舞子ビラ神戸のお部屋を確保しております。事前参加登録時にお申し込みいただくと、コンファレンスレートにてご利用いただけます。宿泊については家族同伴も可能となっておりますので、是非ご家族でお越しください。

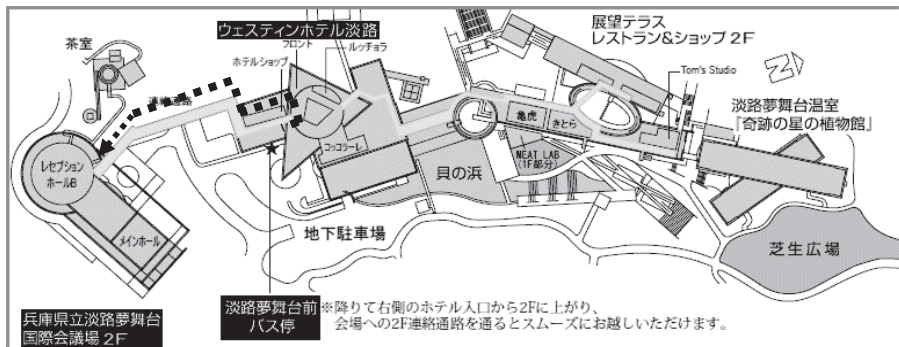
○放射線安全取扱部会事務局

☎ 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail gakuju^{tsu}@jrias.or.jp



最寄りバス停から会場までのご案内



至博多



平成 29 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 58 回放射線管理研修会）

- 期 日：平成 29 年 10 月 12 日（木） 10:40～13 日（金） 14:30
 ○会 場：兵庫県立 淡路夢舞台国際会議場（兵庫県淡路市夢舞台 1 番地）
 TEL：0799-74-1020 FAX：0799-74-1021
 ○交流会：兵庫県立 淡路夢舞台国際会議場 地階イベントホール
 ○テーマ：はじまりの島 主任者よ いざ夢の舞台へ

年 次 大 会 プ ロ グ ラ ム

○1 日目 10 月 12 日（木）

時 間	メインホール	レセプションホール B + ホワイエ
9:30～	参加受付（2 階登録カウンター）	クローク
10:10～	開場	（レセプションホール B 脇） 9:30～20:30
10:40～11:40（60）	開会・部会総会	機器展示
11:40～12:00（20）	平成 29 年度 放射線安全取扱部会 表彰式 （功労表彰・放射線安全管理奨励賞）	10:30～17:30
12:00～13:30（90）	昼食休憩（相談コーナー）	ポスター発表 発表者は 12:00 までに貼り終え 翌日 13:00 まで掲示
13:30～14:30（60）	特別講演 I 「放射線安全管理行政の動向」 松本 武彦氏（原子力規制庁） 座長 矢鋪 祐司氏（日本たばこ産業(株)）	16:30～17:30 ポスター前にて説明
14:30～14:40（10）	休 憩	2 階カウンター 書籍コーナー 10:30～17:30
14:40～16:10（90）	シンポジウム I 「法令改正を踏まえた事業所の取り組み」 事業所代表パネリスト 座長 松本 敦氏（(株)コーガアイソトープ）	メインホールホワイエ 相談コーナー 12:00～13:30
16:30～17:30（60）	ポスター発表（レセプションホール B）	
18:00～20:00（120）	交流会（地階イベントホール）	
20:30～	自由参加企画 ・ナイトセッション（分科会合同企画）（会議室 301） ・星を観る会 ※雨天時は室内イベント（会議室 301 前屋上）	

○ 2 日目 10 月 13 日(金)

時 間	メインホール	レセプションホール B + ホワイエ
9:10～	参加受付 (2 階登録カウンター)・開場	クローク (レセプションホール B 脇)
9:30～10:30 (60)	シンポジウム II 「主任者のスキルとしての緊急時モニタリング—そのプラットフォーム構築のための教育研究の試み」 (1) 緊急時対応の考え方と緊急モニタリングプラットフォームの位置付け 松田 尚樹氏 (長崎大学) (2) 緊急モニタリングにおける基準線量 柴 和弘氏 (金沢大学) (3) 緊急モニタリングと原子力防災体制の接点 後藤 稔男氏 (宮崎大学) 座長 松田 尚樹氏 (長崎大学)	9:10～15:00 機器展示 9:10～13:00 ポスター掲示 9:00～13:00 ※ 14:00 以降に掲示されているポスターは実行委員会で処分します。
10:30～10:40 (10)	休 憩	2 階カウンター 書籍コーナー 10:00～13:00
10:40～11:40 (60)	特別講演 II 「核医学イメージングでわかる情動のメカニズム—“ときめき”の脳科学」 高橋 佳代氏 (理化学研究所) 座長 佐々木將博氏 (先端医療センター)	
11:40～13:00 (80)	昼食休憩	
13:00～14:00 (60)	特別講演 III 「フクシマから始める疫学入門」 田中 司郎氏 (京都大学) 座長 角山 雄一氏 (京都大学)	
14:00～14:10 (10)	休 憩	
14:10～14:30 (20)	大会のまとめ (矢鋪 祐司 近畿支部長) 次回大会紹介 (渡部 浩司 東北支部長) 閉 会	
15:00～	自由参加企画 ・見学会 (淡路夢舞台「奇跡の星の植物館」等)	